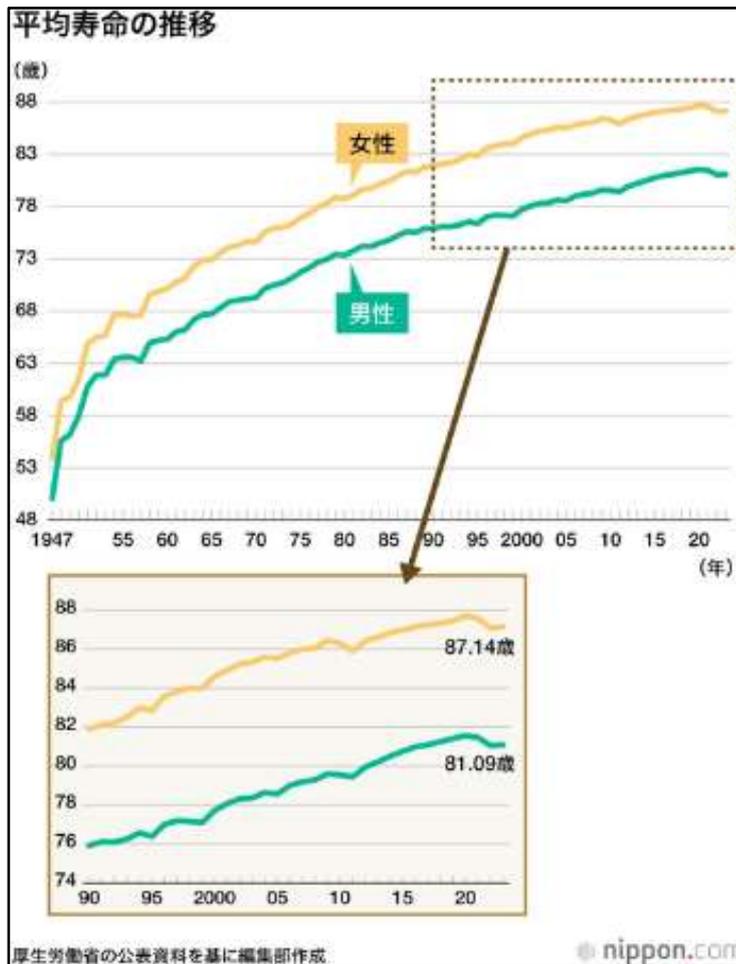


コロナ死亡率低下で平均寿命が3年ぶりにプラス：女性87.14歳で世界一の長寿。女性の半分は90歳まで、4分の1は95歳まで生きる

7/29(月)nippon.com

2023年に生まれた人が90歳まで生きる確率は、女性50.1%、男性26.5%。「60歳でリタイアできたなんて、平成はぜいたくな時代だった」と振り返るのだろうか。

厚生労働省が公表した、2023年日本人の平均寿命は女性87.14歳、男性81.09歳だった。22年と比べて女性は0.05歳、男性は0.04歳長くなり、3年ぶりに前年を上回った。



平均寿命は、その年に生まれた0歳の子供があと何年生きられるかを示した指標。戦後間もない1947年の女性53.96歳、男性50.06歳からほぼ右肩上がりて延び続けてきたが、新型コロナウイルスによる死亡増が影響し、21年と22年は2年連続で縮まっていた。

21年生まれの日本人で90歳まで生きる人の割合は、女性51.0%、男性26.0%。95歳までは女性25.5%、男性9.2%となった。

主な国・地域別の平均寿命

23年生まれの人が将来がんで死亡する確率は、女性19.09%、男性25.93%。いまや、がんは不治の病ではなくなったとはいえ、男女ともに死因のトップ。人類ががんを克服して、がんで死亡する人をゼロにできれば、女性は2.69年、男性は3.16年寿命が延びると推計している。

		女性		男性	
1	日本	87.14	スイス	82.3	
2	スイス	85.9	スウェーデン	81.58	
3	フランス	85.75	ノルウェー	81.39	
4	スペイン	85.74	オーストラリア	81.22	
5	韓国	85.6	日本	81.09	

厚生労働省まとめ オーストラリアは2020-22年、スペイン、韓国は22年のデータ